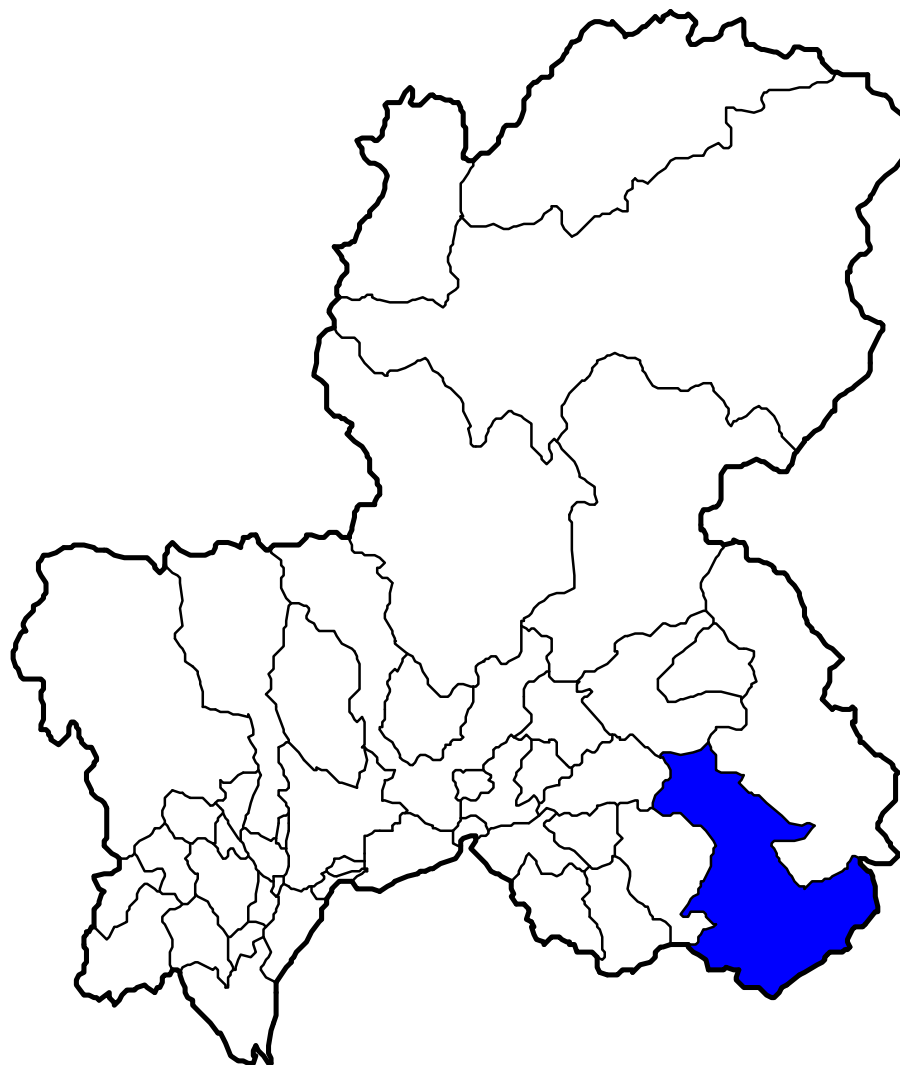


統計からみた 恵那市の 現状

| 総面積km ² | 割合% | 順位 |
|--------------------|------|----|
| 504.24 | 4.75 | 7 |

※割合＝県全体に占める割合



<平成以降の合併> 2004.10.25
恵那市、岩村町、山岡町、明智町、
串原村、上矢作町

岐阜県環境生活部統計課
2024年10月更新

恵那市の人口は減少が続いている

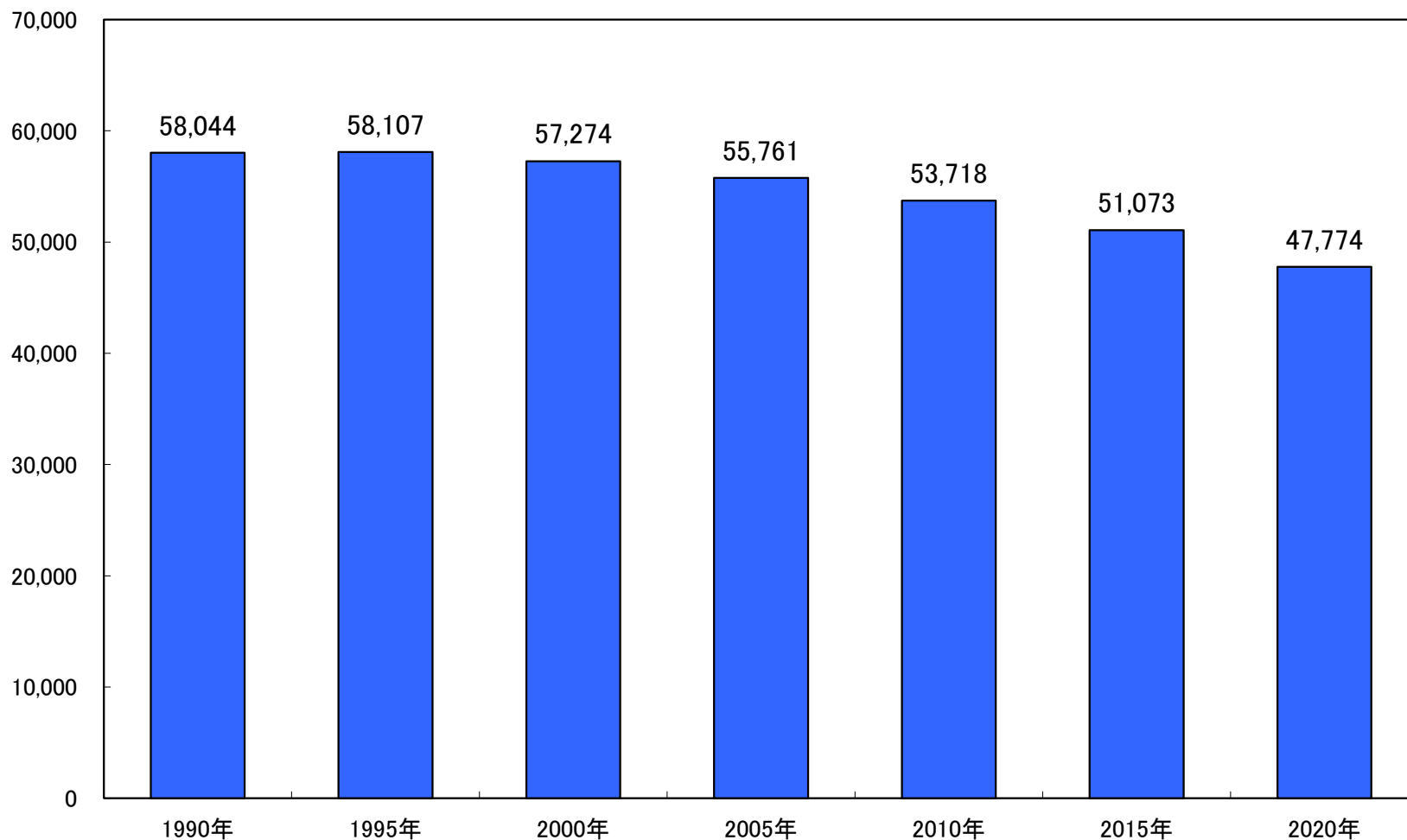
2010年：53,718人 → 2015年：51,073人 (△2,645人)

2015年：51,073人 → 2020年：47,774人 (△3,299人)

人口順位：県内13位 県人口に占める割合：2.8% (1990年) →2.4% (2020年)

(人)

総人口の推移(恵那市)



出典：総務省「国勢調査」

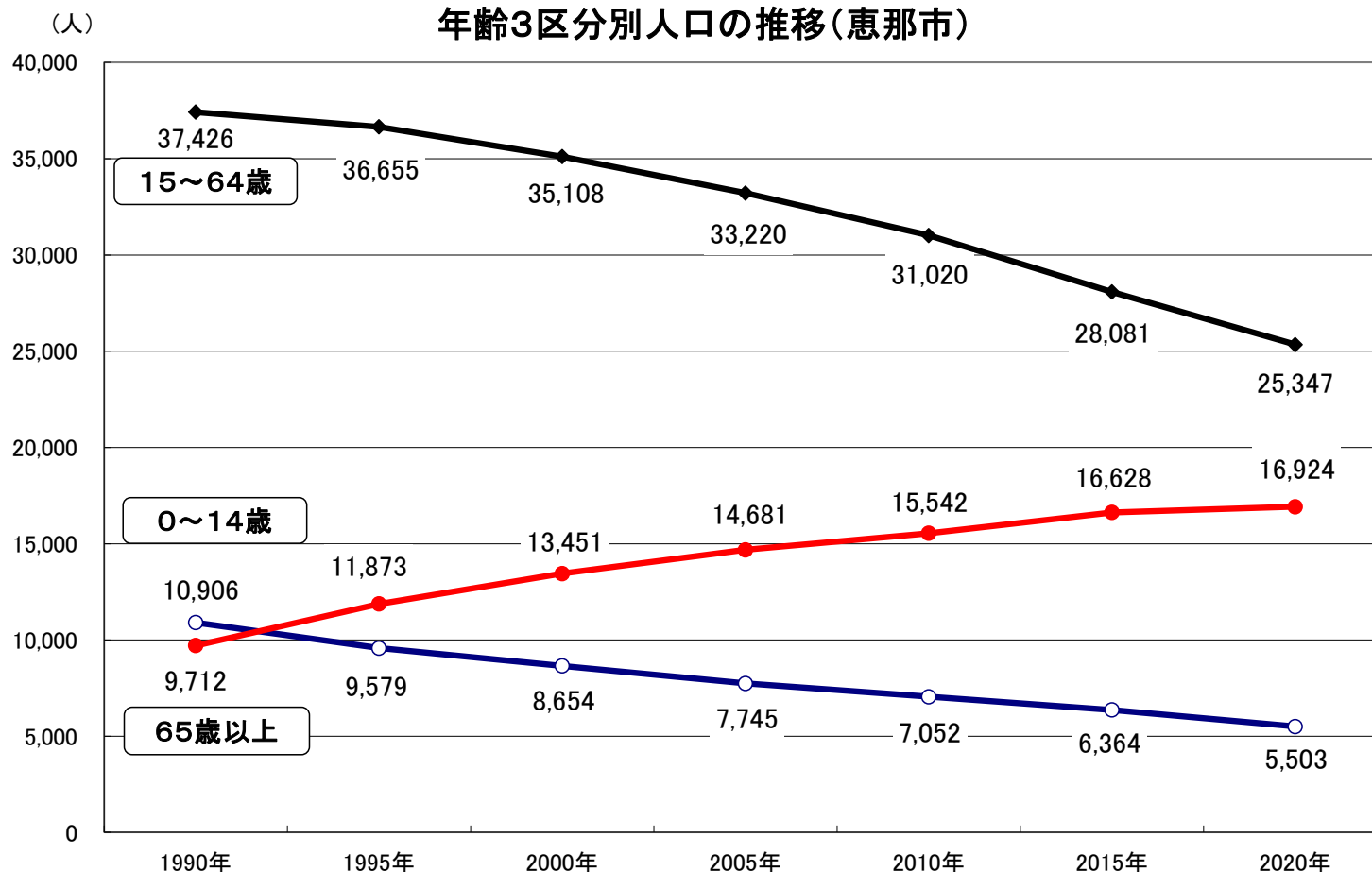
※各年10月1日現在

0～14歳の子どもが減り続ける一方、65歳以上の高齢者は増加 15～64歳人口は減少が続く

| 人口の増減数 | 2010→2015年 | 2015→2020年 |
|--------|------------|------------|
| 0～14歳 | △ 688 | △ 861 |
| 15～64歳 | △ 2,939 | △ 2,734 |
| 65歳以上 | 1,086 | 296 |

| | 年齢3区分別人口の割合 (2020年) | | |
|--------|---------------------|-------|------|
| | 恵那市 | 岐阜県 | 県内順位 |
| 0～14歳 | 11.5% | 12.3% | 28位 |
| 15～64歳 | 53.1% | 57.3% | 32位 |
| 65歳以上 | 35.4% | 30.4% | 12位 |

年齢3区分別人口の推移(恵那市)



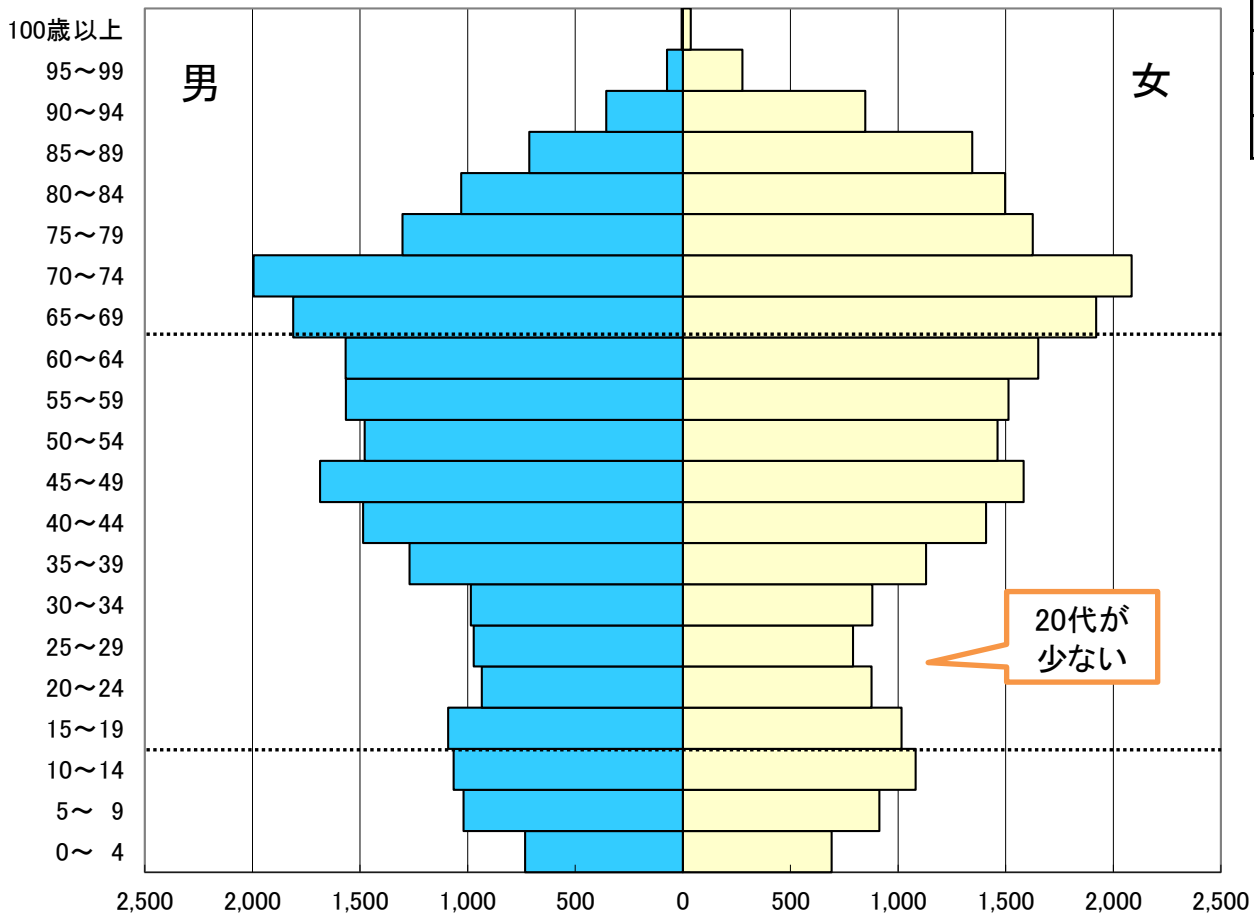
出典:総務省「国勢調査」 ※各年10月1日現在の数値。2010年(平成22年)までは年齢不詳を含まない。2015年(平成27年)以降は年齢不詳補完値。

若い世代が少なく、中高年層に厚みのある年齢構造

厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者はさらに増加するとみられる。

人口に占める65歳以上人口の割合 1990年：16.7%（11位） → 2020年：35.4%（12位）

2020年人口ピラミッド(恵那市)



| | 人口(人) | 構成比(%) |
|--------|--------|--------|
| 総人口 | 47,774 | 100.0 |
| 0~14歳 | 5,503 | 11.5 |
| 15~64歳 | 25,347 | 53.1 |
| 65歳以上 | 16,924 | 35.4 |

<岐阜県全体の人口構成>

- ・0~14歳 : 12.3%
- ・15~64歳 : 57.3%
- ・65歳以上 : 30.4%

<構成比の県内順位>

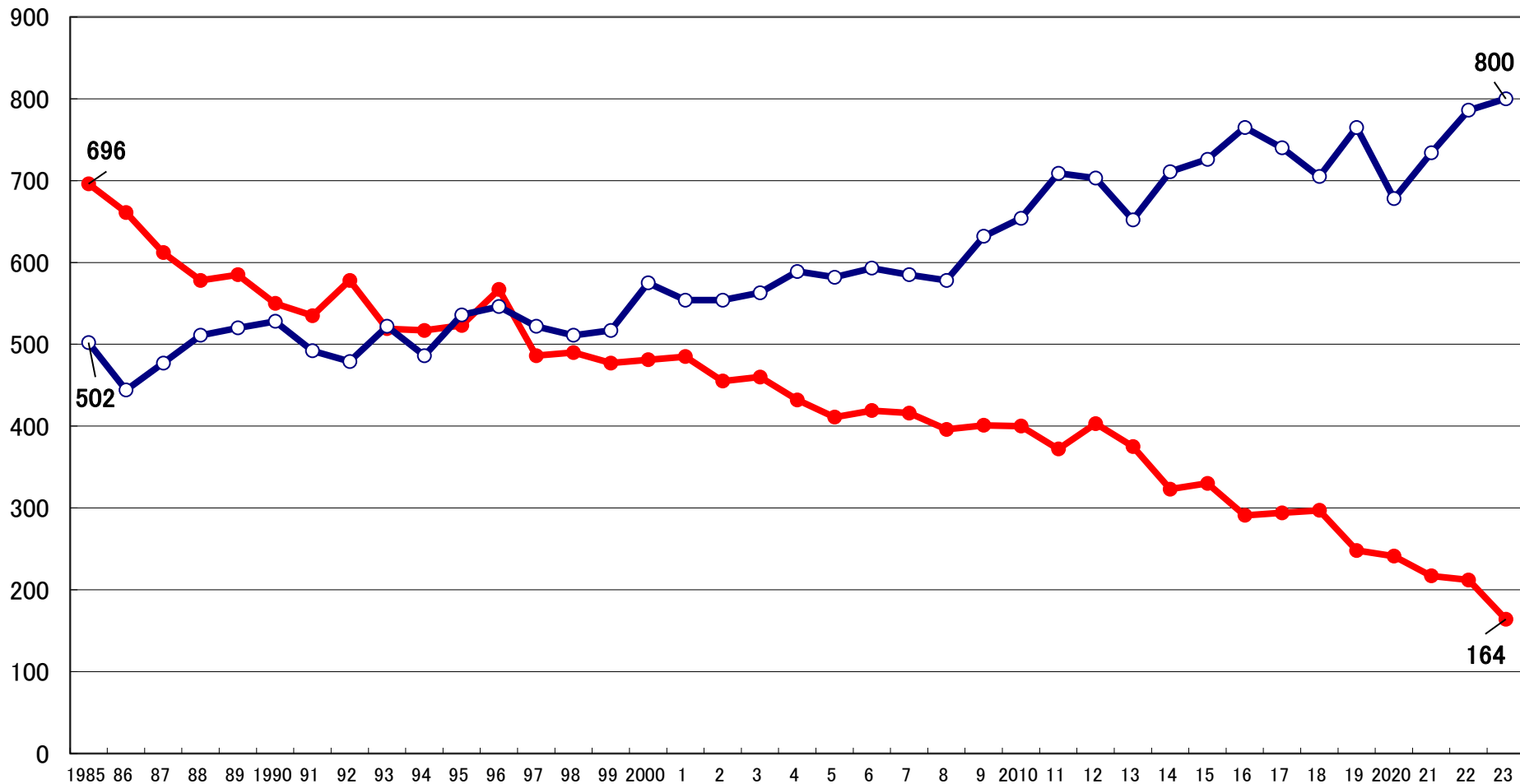
- ・0~14歳人口 : 28位
 - ・15~64歳人口 : 32位
 - ・65歳以上人口 : 12位
- ※数値の大きい順

出生数が減少する一方、死亡数が増加 1997年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少が続く

2023年の自然動態：出生164人 死亡数800人 636人の自然減少

出生数・死亡数の推移（ 恵那市 ）

(人)



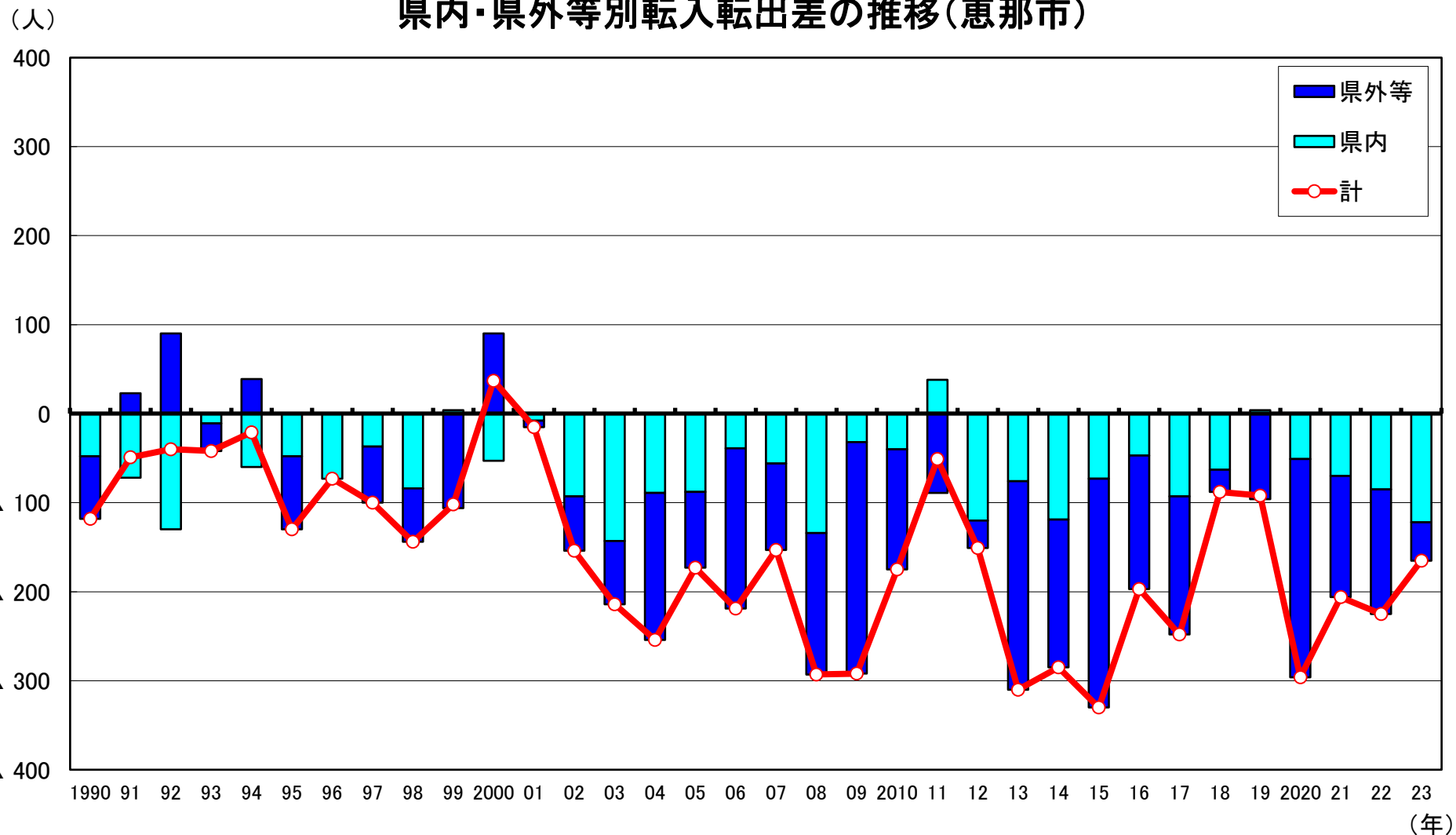
出典：厚生労働省「人口動態統計」(日本人 1～12月の年計)

(年)

2001年以降、転出超過が続く

2023年の社会動態：転入1,361人 転出1,526人 165人の転出超過

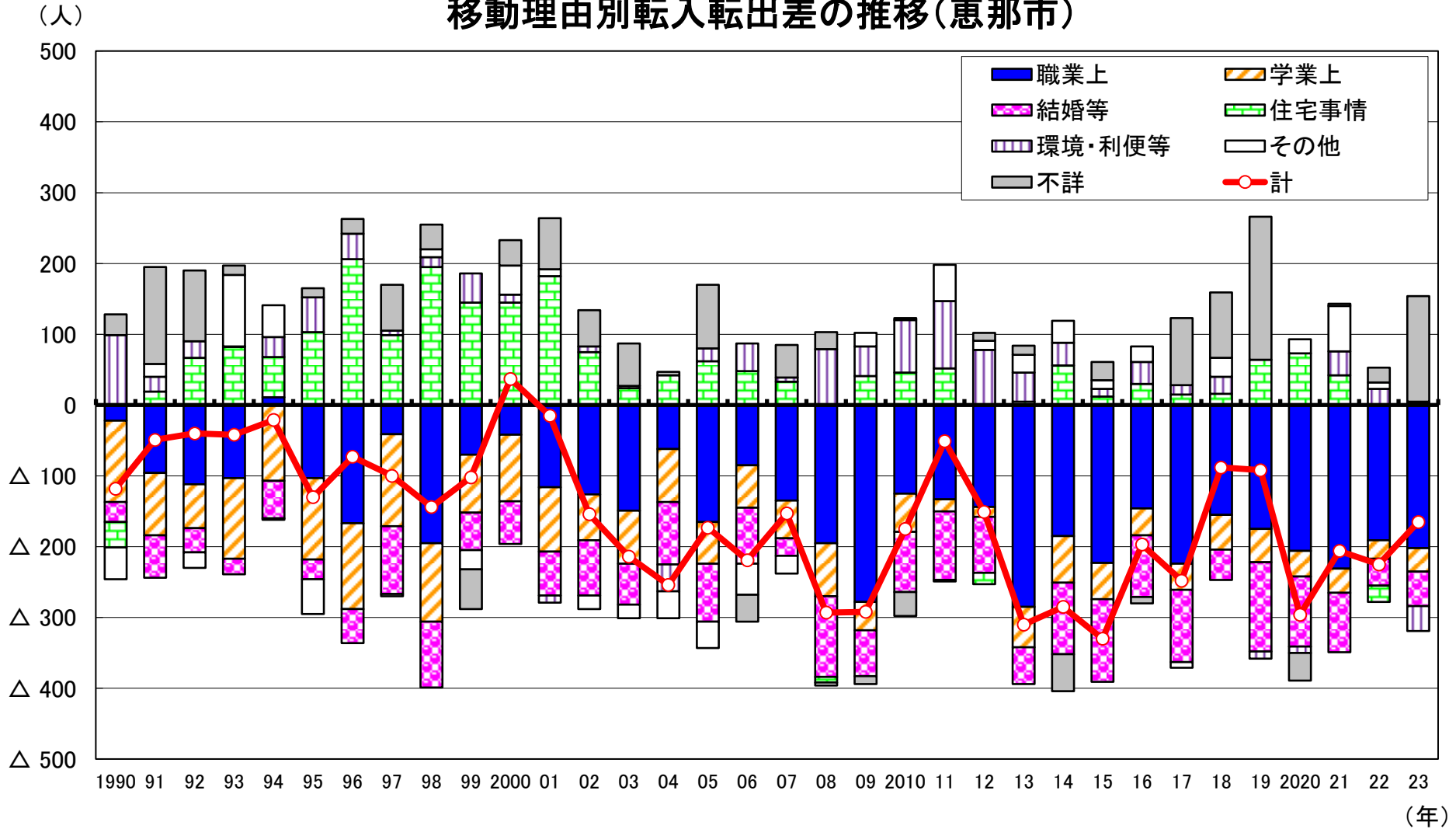
県内・県外等別転入転出差の推移(恵那市)



出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」 ※計、県外等には職権記載等を含む。 ※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

職業上、学業上、結婚等を理由とした転出超過が続く

移動理由別転入転出差の推移(恵那市)

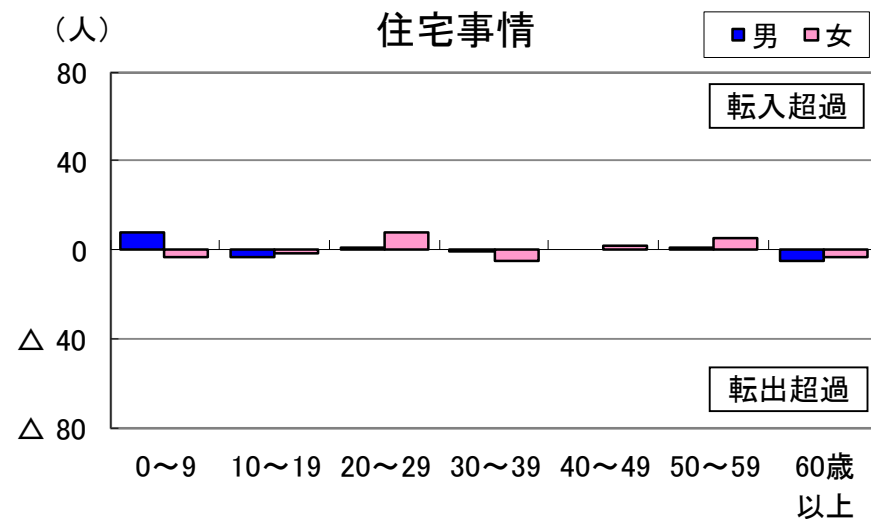
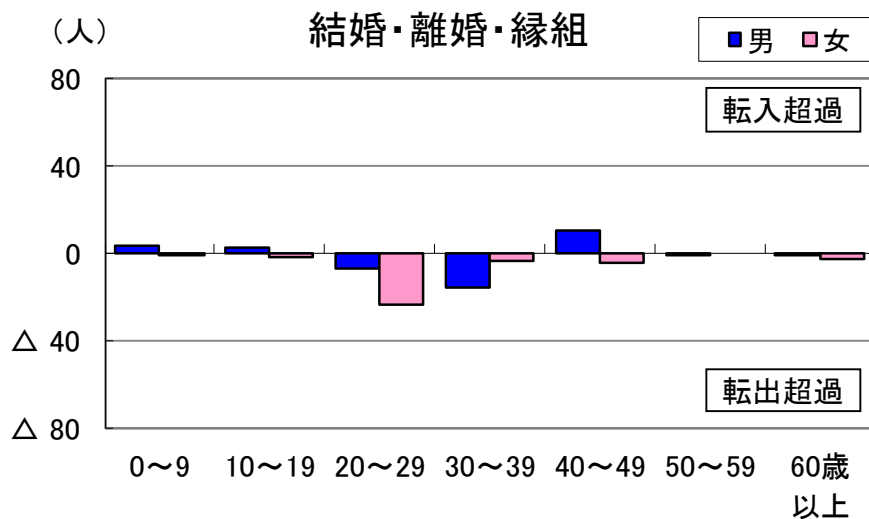
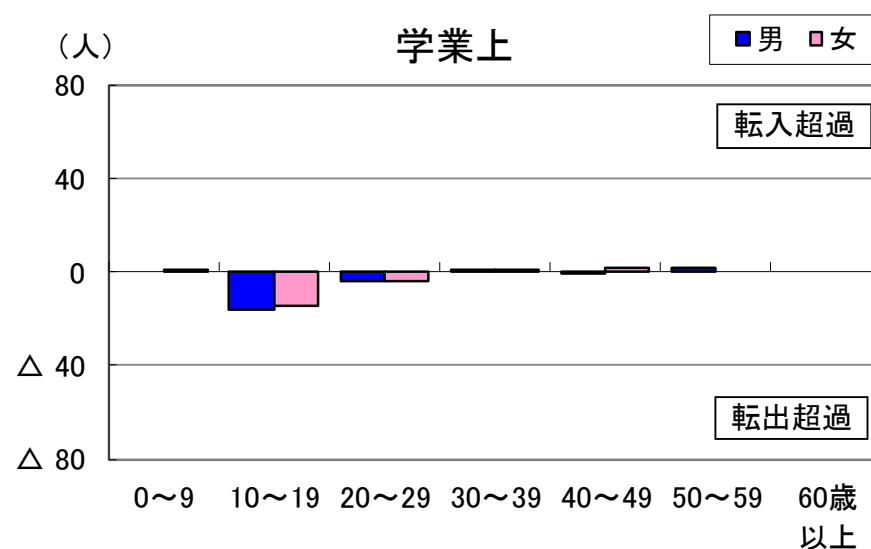
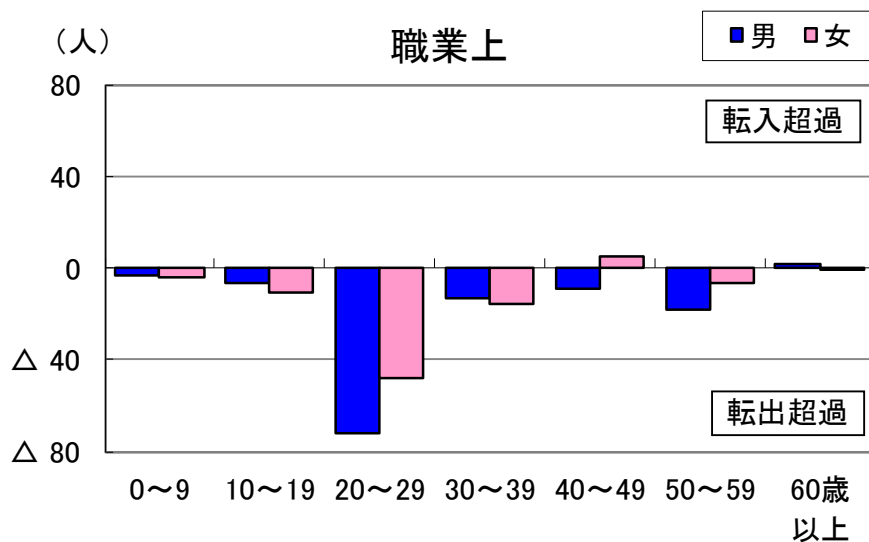


(年)

出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」(不詳=外国人+職権、環境・利便等=生活環境の利便+自然環境+交通の利便)

職業上、結婚等を理由とした20代の転出超過が多い

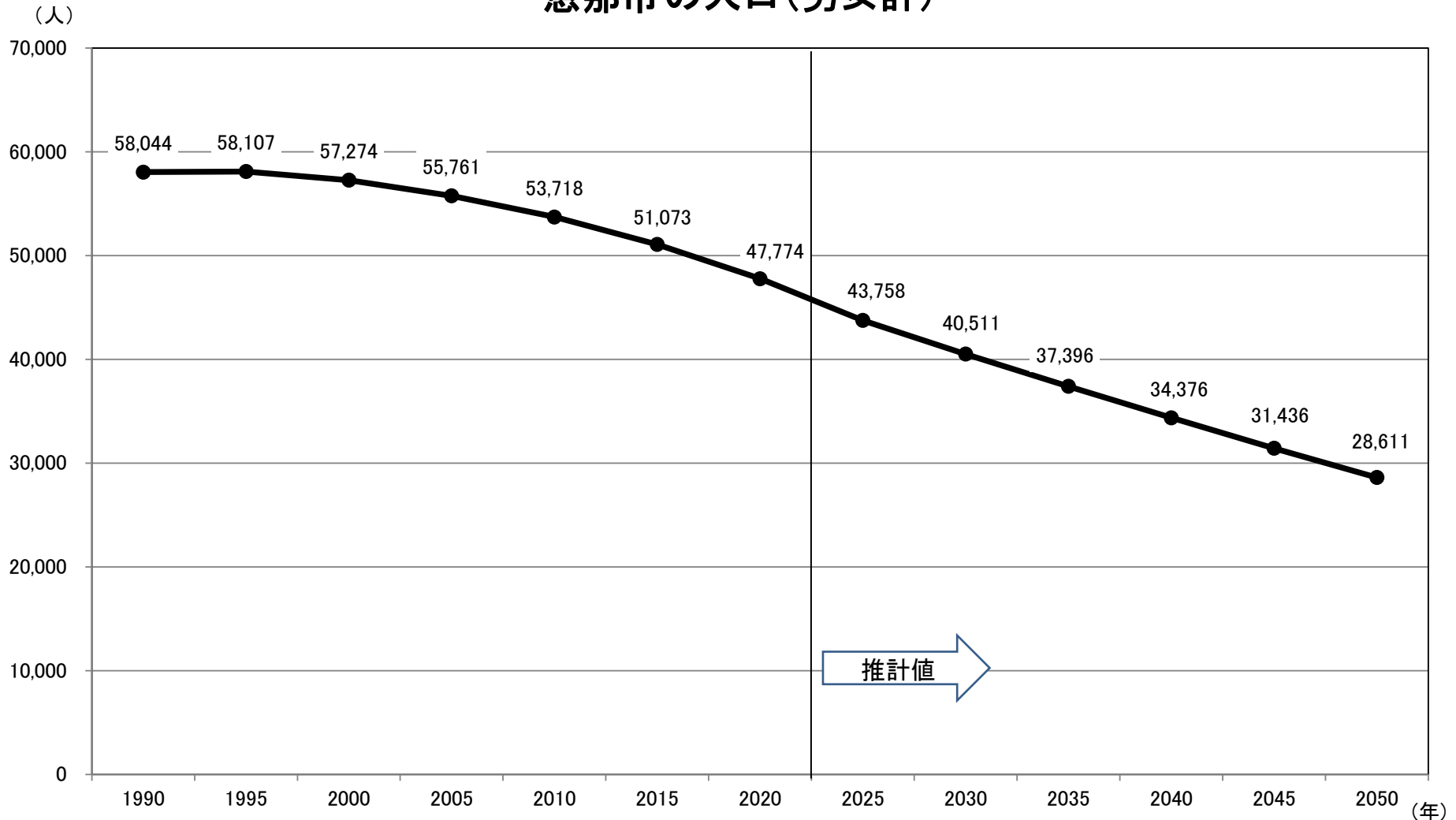
主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(恵那市 2023年)



参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

恵那市の人口(男女計)

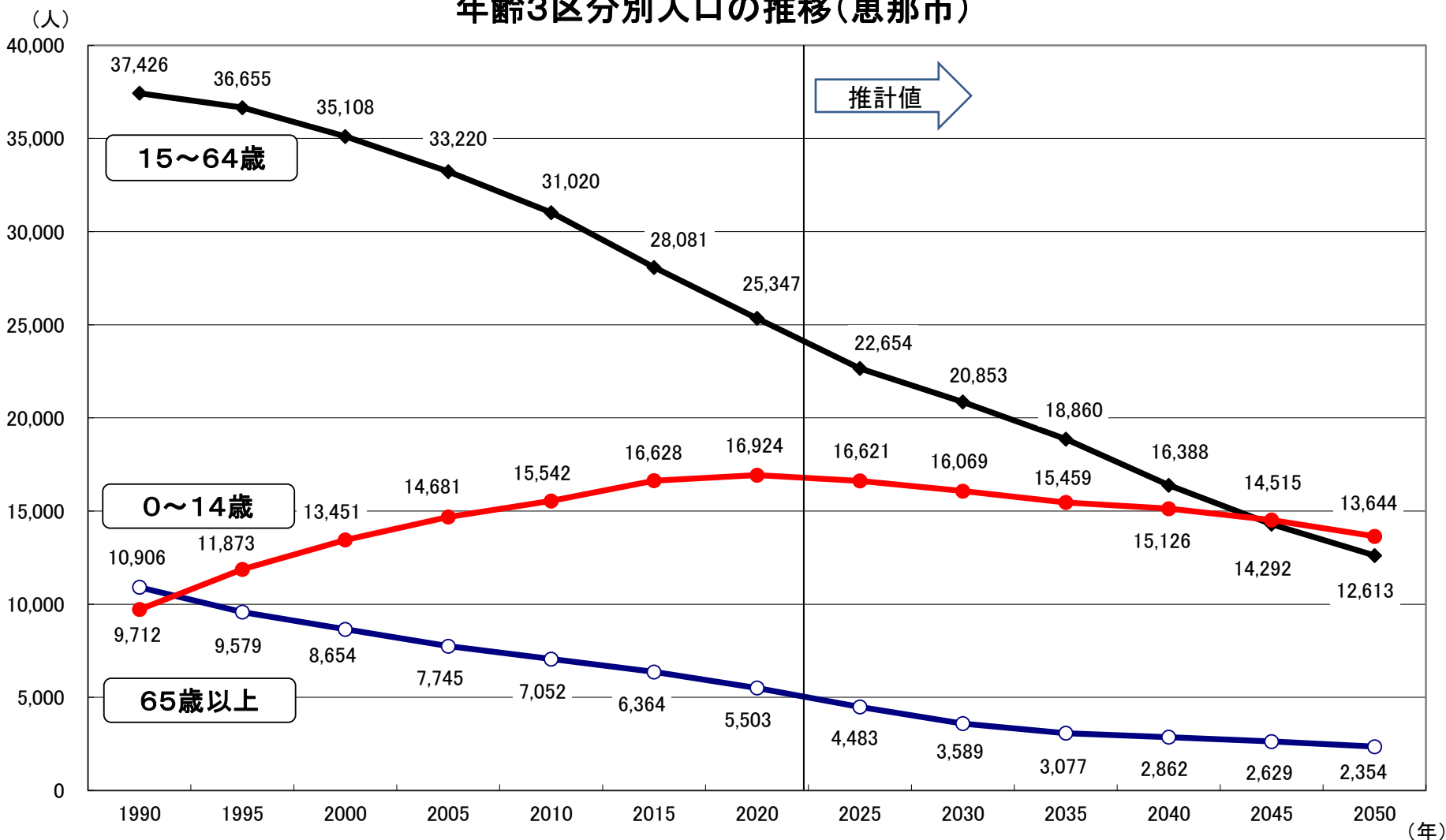


出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

年齢3区分別人口の推移(恵那市)



出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

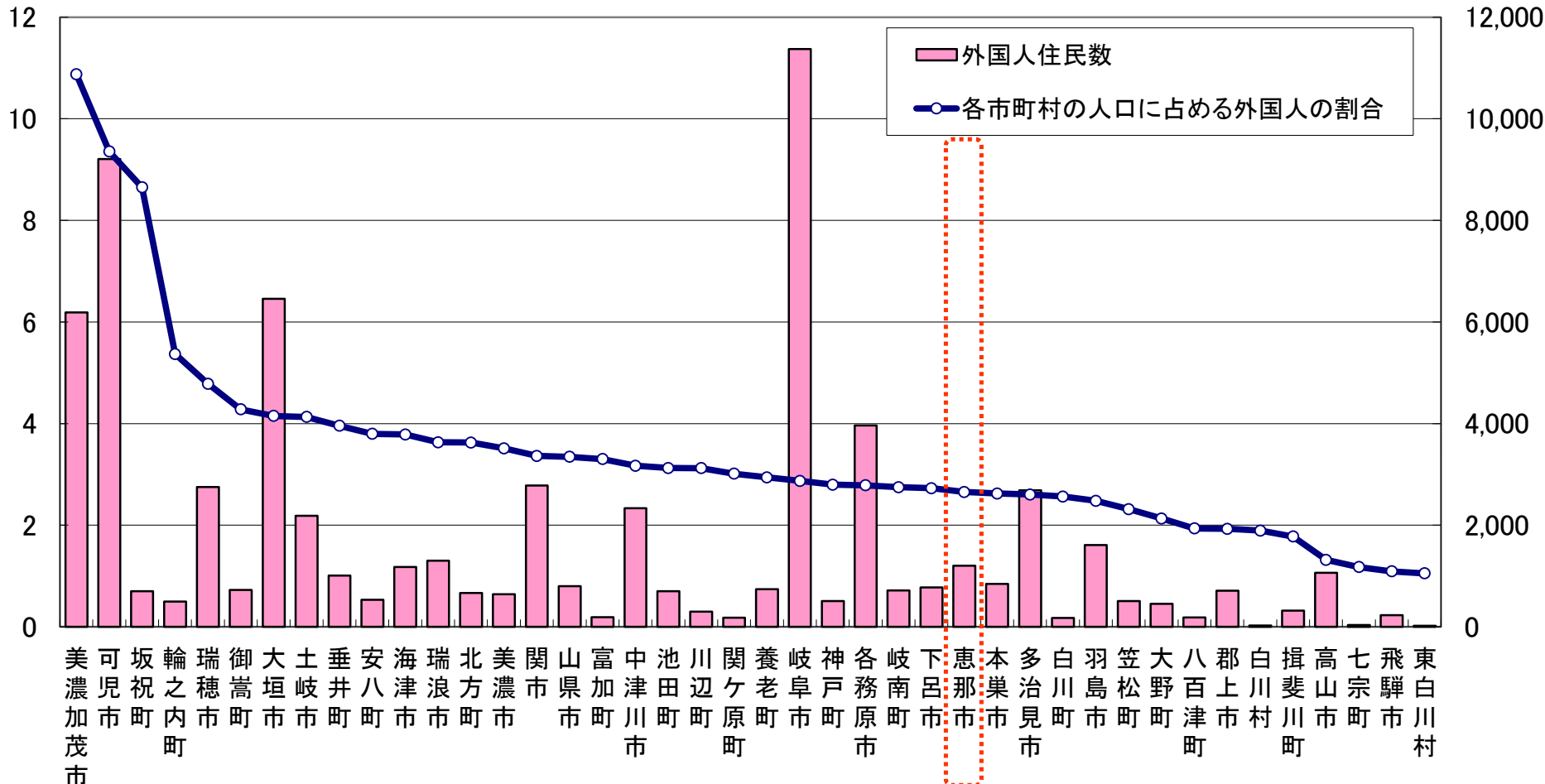
人口に占める外国人の割合は2.7%（県内28位）

岐阜県の外国人住民数69,477人のうち、恵那市の外国人住民数（1,204人）は1.7%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2023年12月末現在）

外国人住民数
(人)

割合
(%)



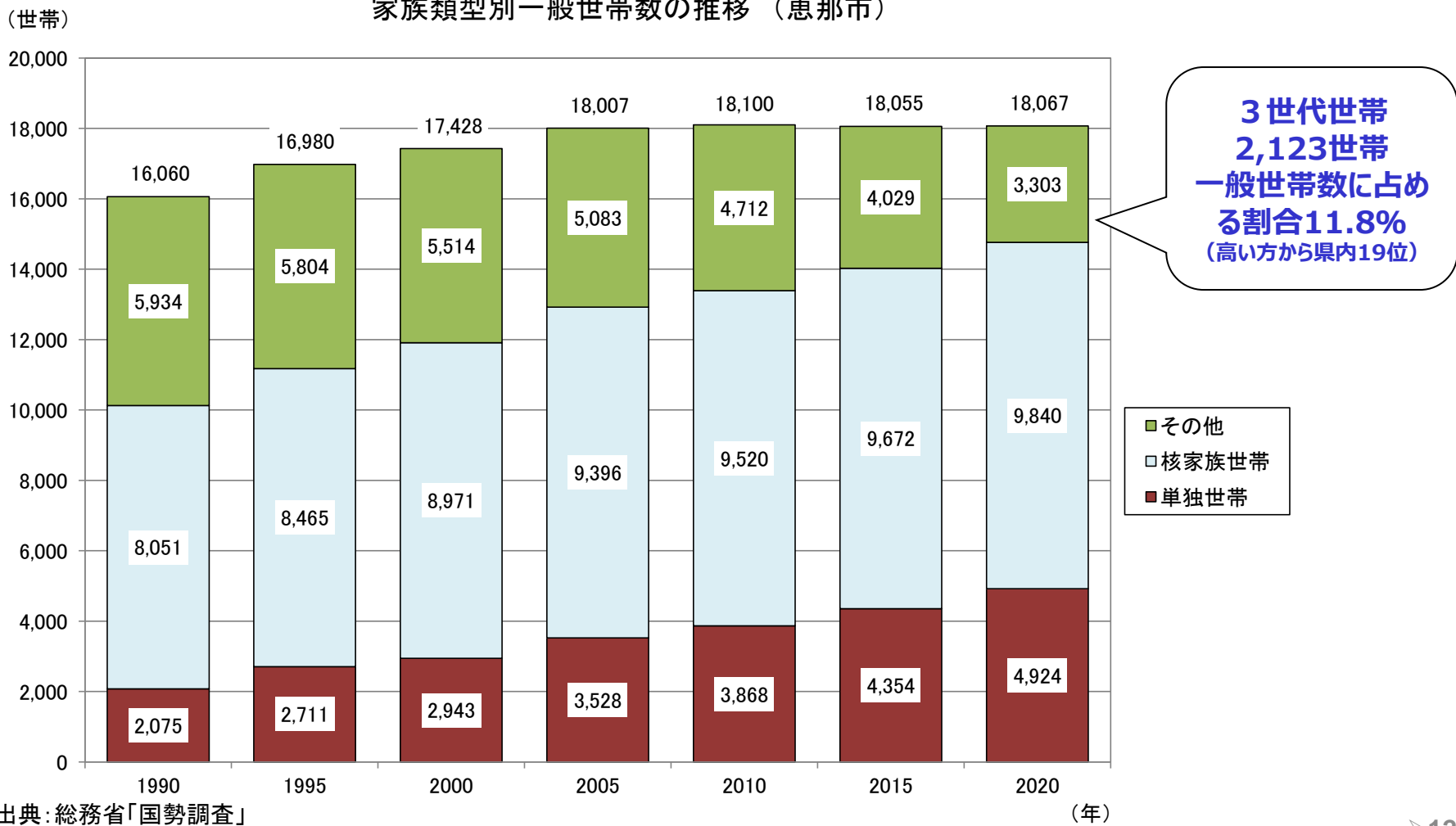
出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2023年12月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2024年1月1日現在）により算出。

一般世帯数は減少に転じ、1世帯当たり人員数も減少 単独世帯が大きく増加

単独世帯は1990年以降の30年間で2.4倍に。

1世帯当たり人員数：2.92人（2010年）→2.59人（2020年 県内18位）

家族類型別一般世帯数の推移（恵那市）

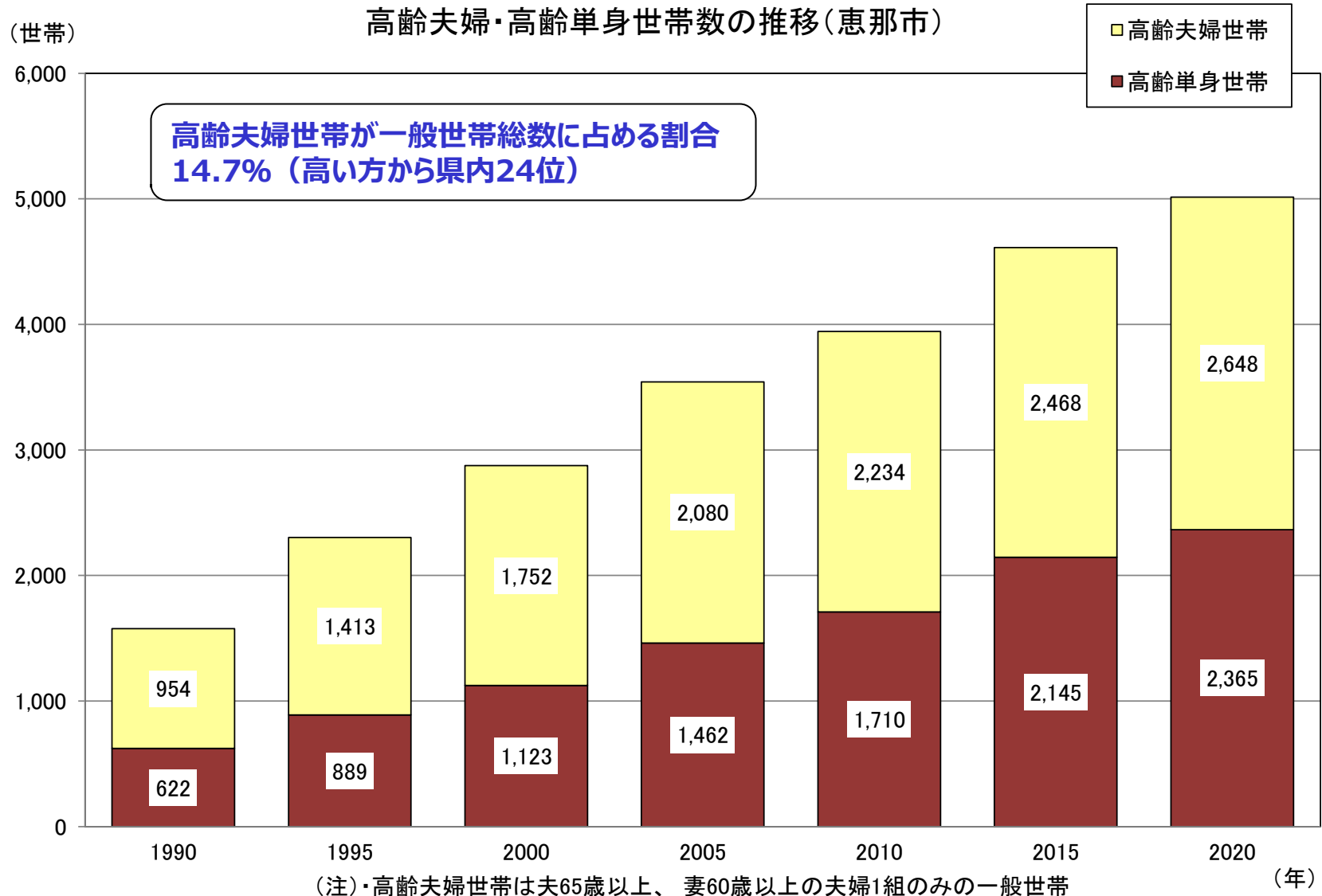


出典：総務省「国勢調査」

注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加

1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は2.8倍、高齢単身世帯は3.8倍に増加。



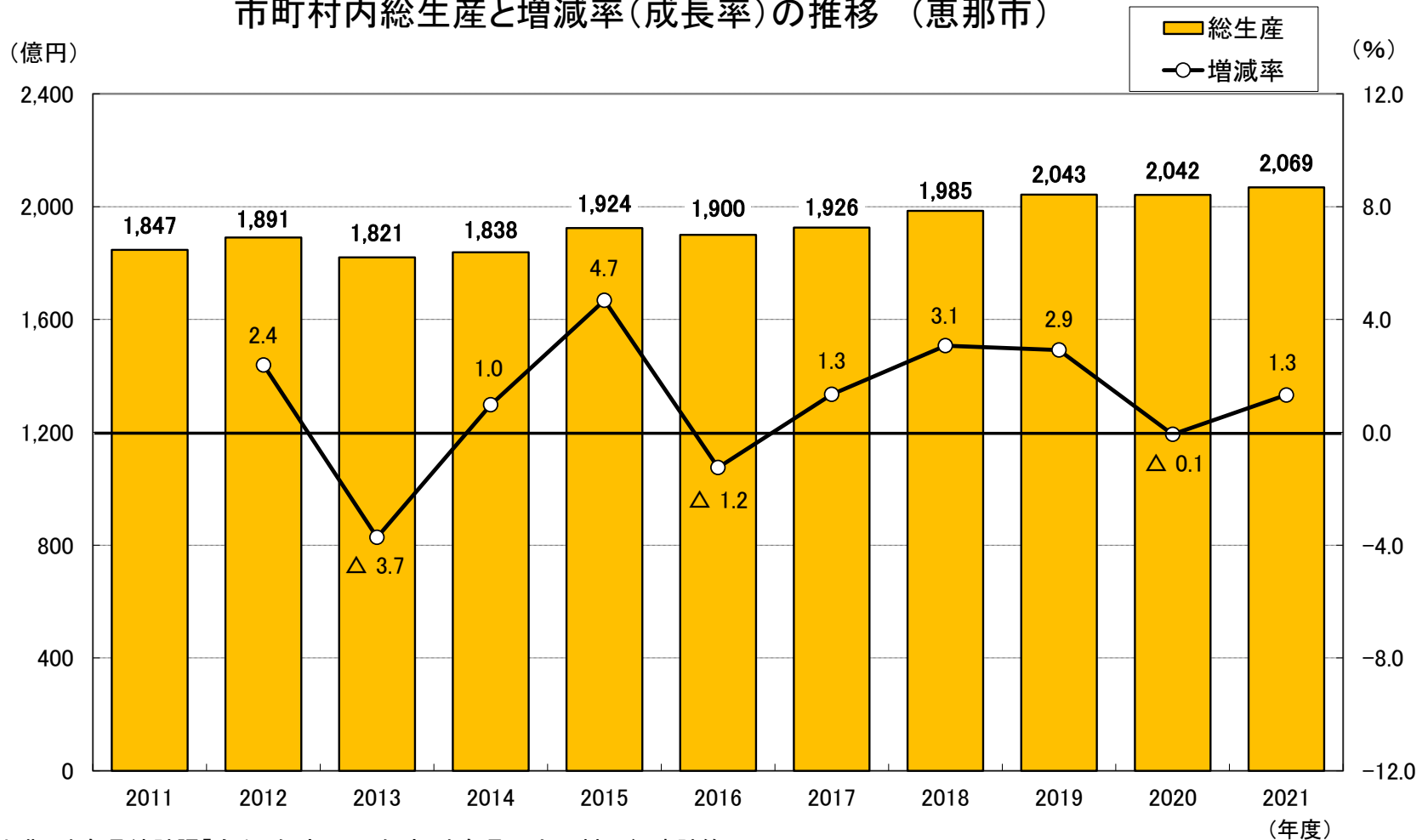
恵那市の総生産は2069億円 1人当たり市町村民所得は306万円

総生産は県（名目8兆110億円）の2.6%、県内11位

1人当たり市町村民所得は県（309万2千円）の98.9%、県内19位

※ 1人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの

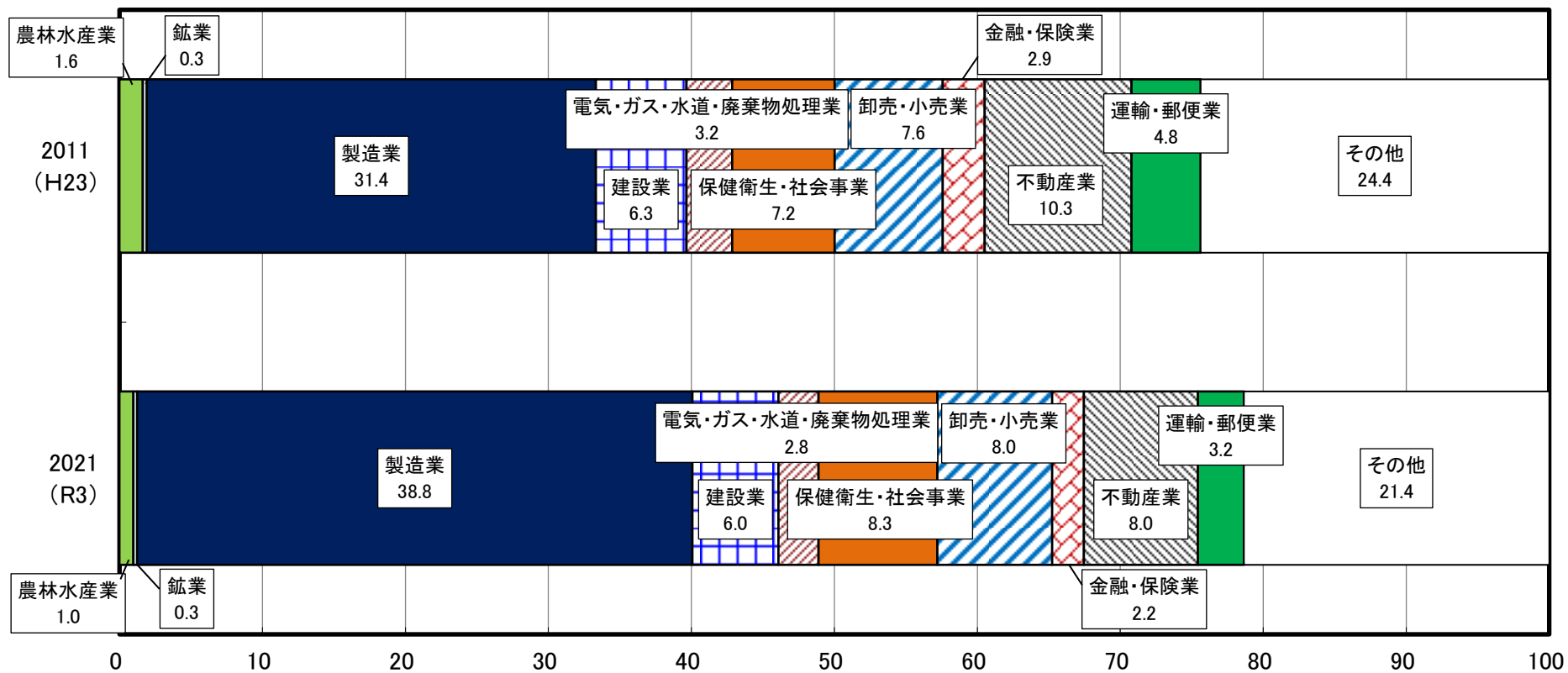
市町村内総生産と増減率（成長率）の推移（恵那市）



第2次産業が45%、第3次産業が53%を占める産業構造

製造業、保健衛生・社会事業の割合が高い

市町村内総生産の経済活動別構成比 (恵那市)



出典: 岐阜県統計課「令和3年度(2021年度)岐阜県の市町村民経済計算」

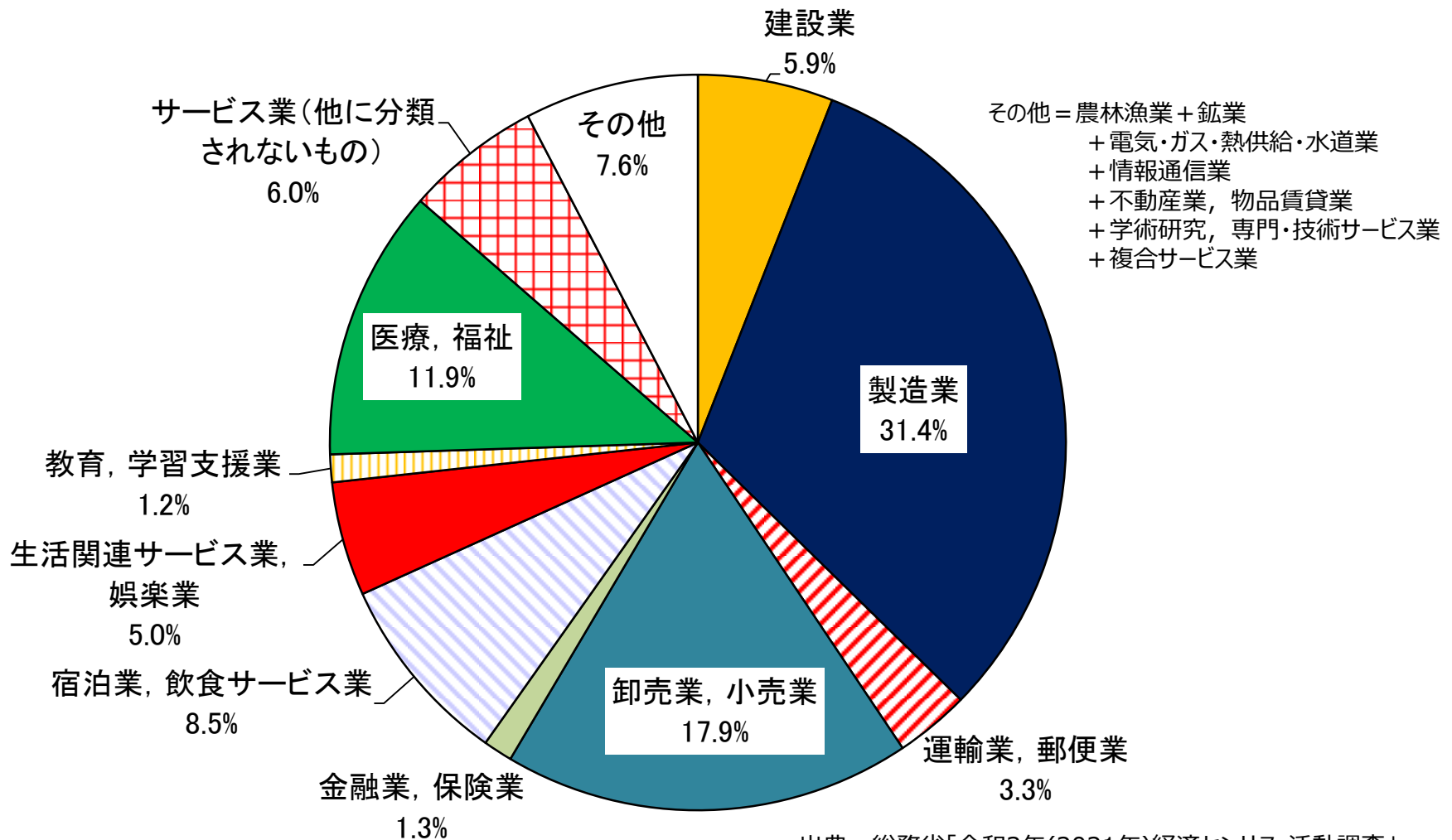
注1: 「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2: 「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。

なお、輸入品に課される税・関税等も含めている。

産業別の従業者数は、製造業が31.4%と最も多く、 次いで卸売業,小売業が17.9%を占める

産業別従業員数の構成比(恵那市 2021年)



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

産業別従業者でみると、全国と比べて、 農林漁業、鉱業の特化係数が高いことが特徴

産業別事業所数、従業者数（恵那市 2021年）

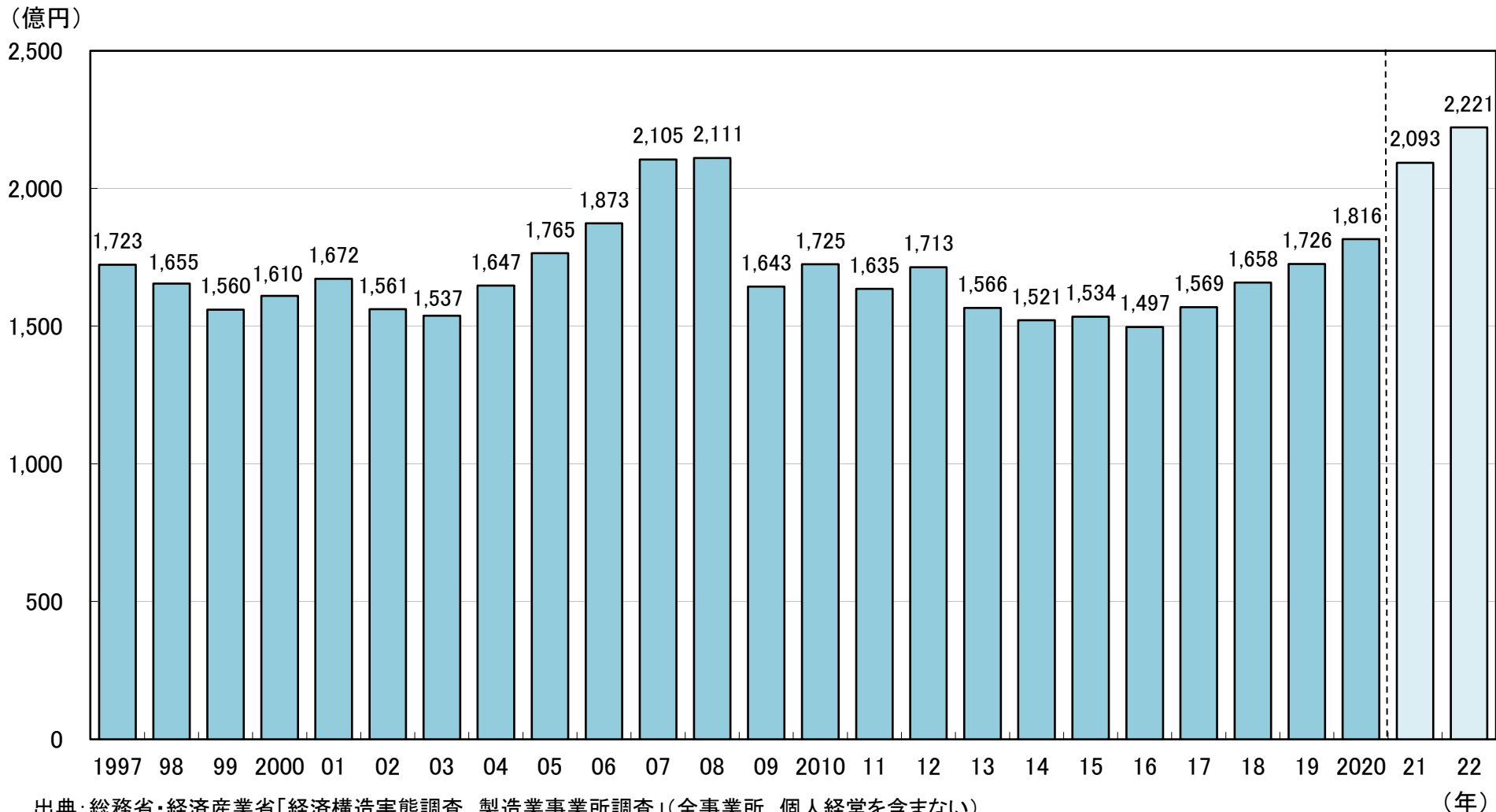
| | 事業所数 | 従業者数 | | 産業別従業者数の 構成比による特化係数 | |
|-------------------|-------|--------|-------|------------------------|--------|
| | | (人) | 構成比 | 全国=1.00 | 県=1.00 |
| 総数 | 2,446 | 23,215 | 100.0 | 1.00 | 1.00 |
| 農林漁業 | 52 | 662 | 2.9 | 3.64 | 2.64 |
| 鉱業 | 4 | 25 | 0.1 | 3.17 | 1.61 |
| 建設業 | 255 | 1,381 | 5.9 | 0.92 | 0.87 |
| 製造業 | 293 | 7,286 | 31.4 | 2.07 | 1.27 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 4 | 20 | 0.1 | 0.25 | 0.28 |
| 情報通信業 | 6 | 28 | 0.1 | 0.04 | 0.16 |
| 運輸業, 郵便業 | 65 | 760 | 3.3 | 0.58 | 0.72 |
| 卸売業, 小売業 | 565 | 4,156 | 17.9 | 0.89 | 0.94 |
| 金融業, 保険業 | 37 | 298 | 1.3 | 0.50 | 0.56 |
| 不動産業, 物品賃貸業 | 100 | 248 | 1.1 | 0.38 | 0.61 |
| 学術研究, 専門・技術サービス業 | 98 | 456 | 2.0 | 0.54 | 0.87 |
| 宿泊業, 飲食サービス業 | 327 | 1,962 | 8.5 | 1.05 | 1.03 |
| 生活関連サービス業, 娯楽業 | 207 | 1,166 | 5.0 | 1.34 | 1.25 |
| 教育, 学習支援業 | 65 | 283 | 1.2 | 0.36 | 0.46 |
| 医療, 福祉 | 200 | 2,767 | 11.9 | 0.85 | 0.90 |
| 複合サービス事業 | 31 | 334 | 1.4 | 1.91 | 1.58 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 137 | 1,383 | 6.0 | 0.66 | 0.83 |

出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」

注) 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

2022年の製造品出荷額等は、2221億円

製造業製造品出荷額等の推移（恵那市）



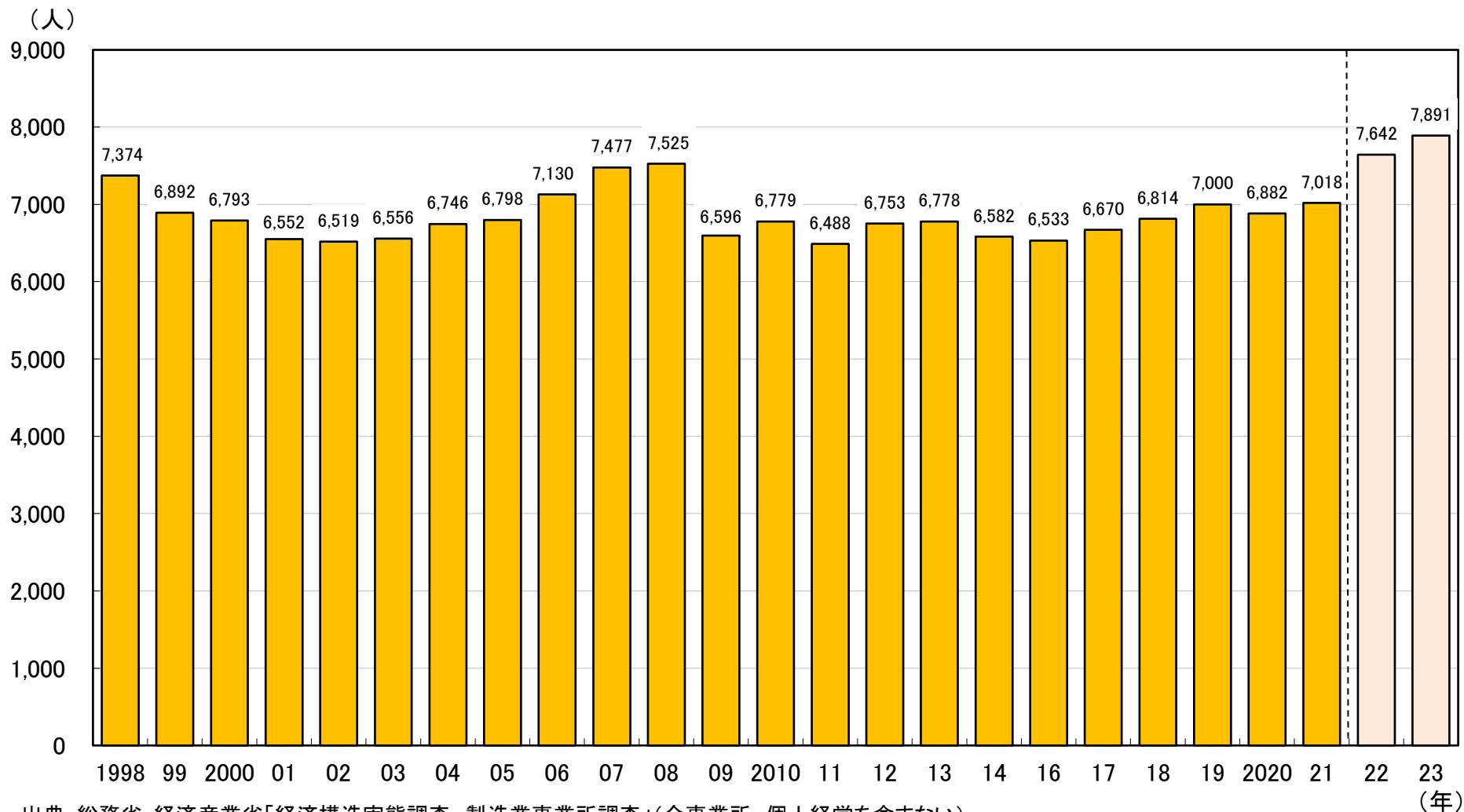
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）

1997年～2019年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

製造業の従業者数は、近年は増加傾向

製造業従業者数の推移（恵那市）



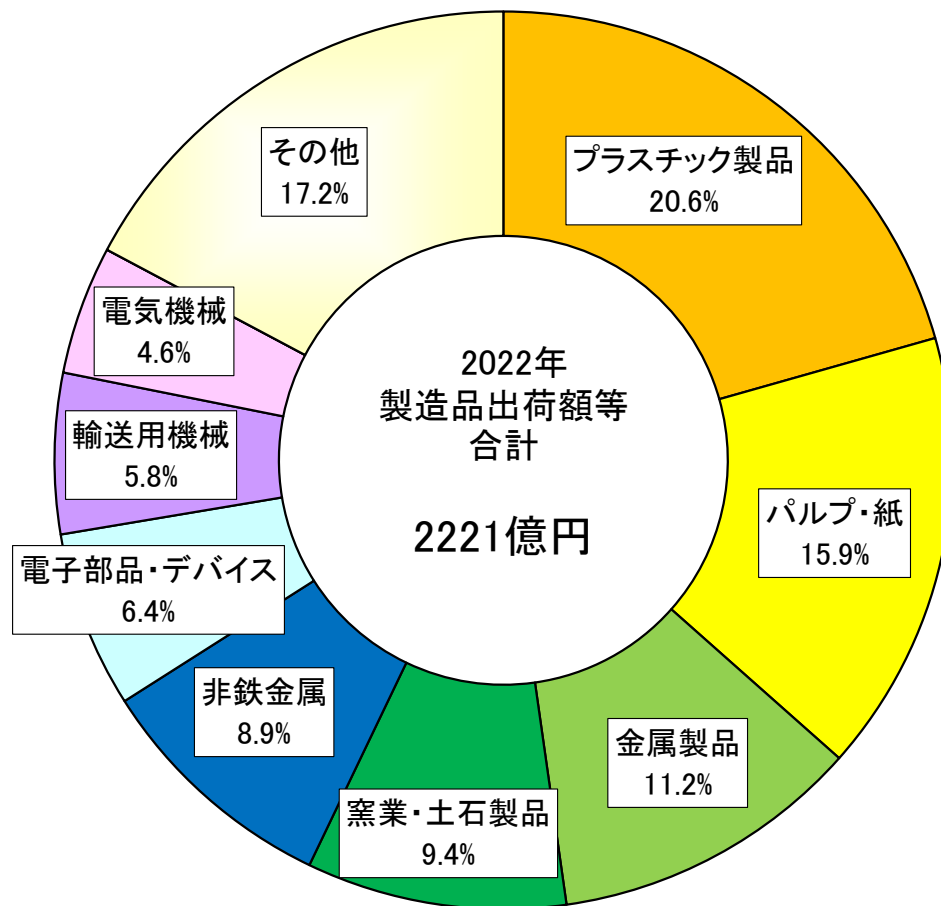
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

1998年～2020年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

プラスチック製品が20.6%と最も多く、 次いでパルプ・紙が15.9%を占める

製造品出荷額等の業種構成 < 恵那市 >



出典：総務省・経済産業省「令和5年(2023年)経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

注1：「一般機械」=はん用機械器具+生産用機械器具+業務用機械器具

注2：「木材・家具等」=木材・木製品製造業(家具を除く)+家具・装備品製造業

注3：事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。

また、「一般機械」、「木材・家具等」は、内訳の業種に秘匿がある場合は、その業種の製造品出荷額は合算していない。(「その他」に含む)

注4：単位未満を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。